

令和6年5月6日

P T A総会挨拶

校長 村井 浩昭

皆さん失礼いたします。今年度の人事異動で吉田高校から転勤して参りました村井浩昭といたします。平成31年度（令和元年度）、令和2年度ここで教頭をさせていただいておりました。久しぶりに訪れた小松高校は、桜が見事に咲いており、気持ちが引き締まり、この養正が丘で尽力したいと強く思いました。どうぞよろしく願いいたします。

少子化の影響でどこも生徒数は減少の傾向にありますが、新入生が例年よりも多く本校を選択し、入学してくださったおかげで、本校では昨年度よりも生徒数が増えており、全校生徒は375名となっております。P T Aの皆様のおかげと感じております。日頃から本校の教育活動に御理解、御協力、御尽力していただき、感謝しております。本日もお休みの日にも関わらず、足元の悪い中、来校していただき、ありがとうございます。今後とも引き続きよろしく願いいたします。

部活動も盛んで、野球部は春の大会は優勝した松山商業に2点差で、もう一息です。サッカーも何年かぶりで県総体出場を決めております。たくさんの部活動が活躍しております。バスケットボール男子も県総体出場を決めておりますが、県総体出場は20年ぶりくらいでないかということでした。

今年度、本校の重点努力目標を「文武両道 情理一体 人間力を高め合い 夢の実現を」一伝統を継承し、地域とともに未来へ向かうーといたしました。「文武両道」は、部活動や学習活動、学校行事にたいしてバランスよく両立を図っていくことを意味しており、よく聞く言葉です。私は、「情理一体」という言葉を付け加えました。感情や情緒といった心の部分と、理屈や理論といった知識の部分バランスよく兼ね備えた人材を育成したいと考えています。情的な面と理的な面を大切にしたバランスの取れた人間形成を行いたいという思いです。

更に令和8年度からは新しい小松高校になります。しっかりと準備をして、新校への橋渡しができるよう未来への礎を築きたいと考えています。

最後になりますが、教育に大切なのは、学校・家庭・地域の連携を密にすることと家庭から学校が信頼を得ることです。我々教職員一同、一丸となって、生徒一人一人の成長を支えてまいります。お願いをすることもございますが、御協力をよろしくお願いいたします。